

## 坂町病院の現状と今後の課題

坂町病院 鈴木 薫

### I 医療圏の現況

三次医療圏：下越地区（水原、豊栄、新発田以北）→新発田病院

県北二次医療圏：医療圏の中心病院が一般的疾患に対応

- 新発田医療圏：新発田市中心→新発田病院  
新発田病院：慢性的空床不足→入院受入れ不能日年々増加（23年度 38日）  
軽症例の手術、検査等は他施設に依頼  
緊急入院必要例を他施設に依頼  
24年7月より外来制限強化
- 坂町医療圏：胎内市、関川村、村上市南部（荒川地区、神林地区）  
中条中央病院：医師不足→当直業務の負担で医師疲弊、時間外患者受入れ制限  
内科医2名態勢：入院制限緩和→内科入院数増加 慢性期病床増加  
整形外科医師減：時間外診療対応不能  
坂町病院：医師不足、看護師不足
- 村上医療圏：村上市北部（村上、朝日、山北）  
村上総合病院：医師不足

### II 坂町医療圏の特徴と坂町病院の役割

#### 1 医療圏の特徴

広い医療圏に開業医の数も少ない

胎内市北部：診療所1箇所、関川村：2箇所、荒川地域：3箇所（内科は不在）、  
神林地域：2箇所

#### 2 坂町病院の役割

(1) 地域に密着し、1次から2.5次までの医療の提供：資料1

① 地区別入院患者の割合：医療圏の患者が約76%

村上市南部30.9%（荒川23.5% 神林7.4%）、関川村15.2%、胎内市29.7%、  
新発田市14.4%（18年度2.6%）、村上市北部6.9%

② 地区別外来患者の割合：医療圏の患者約86%

村上市南部44.0%（荒川33.3% 神林10.7%）、関川村16.0%、胎内市25.6%、  
村上市北部8.8%

③ 時間外患者数：医療圏の患者が約87%

20年度 3800例→22年度 3762例→23年度 3625例

村上市南部1569例：43%（荒川1213 神林446）、関川村510例：14%、  
胎内市1056例：29.1%、村上市北部285例：7.9%

④ 救急搬入患者数：医療圏の患者が約 76.6%

20 年度 459 件→21 年度 487 件→22 年度 569 件→23 年度 603 件

村上市南部 159 件（荒川 121 神林 38）、関川村 120 件、胎内市 183 件、  
村上市北部 58 件、新発田市 54 件

(2) 広域医療圏の安定に寄与する

ア 新発田病院との役割分担→新発田病院の負担軽減

新発田病院からの患者の受入れ

新発田、胎内方面の開業医からの患者の受入れ

イ 他の医療機関との連携

(3) 地域に必要とされる医療の提供

高齢者医療：リハビリ、介護との連携、訪問診療の強化

### Ⅲ 坂町病院の医療体制：24 年度

ア 常勤医師 11 名

内科 6 名：循環器、消化器、呼吸器、腎、糖尿病の専門医確保

神経内科 1 名

内科系は主要分野の専門医を常勤医として確保→診療能力の向上

外科 2 名（1 名は大学からの派遣）

小児科 2 名

イ 非常勤医師による診療能力維持

大学医局 新発田病院：放射線科→新発田病院の医師減に伴い遠隔診断導入  
フリーの医師（消化器、循環器、泌尿器科、整形外科、放射線科、当直専門）

研修医：新発田病院 6 名、新潟市民病院 4 名、新潟大学 4 名

23 年度 当院で 2 回研修した医師 2 名（選択研修で地域医療を選択）

ウ 医師確保の動き

常勤医 24 年度内科 1 名増：大学から派遣

非常勤医師：整形外科→不成功：該当者がみつからず

泌尿器科：大学から正規の出張（週 2 回）、パート医師週 2 回

### Ⅳ 23 年度実績

1 病床稼働率

- ・ 平成 17 年度 87.4% 医師 12 名
- ・ 平成 18 年度 88.1% 医師 14 名
- ・ 平成 19 年度 85.8% 医師 9 名（実質 8 名）分娩休止
- ・ 平成 20 年度 87.4% 医師 8 名
- ・ 平成 21 年度 90.1% 医師 9 名

- ・ 平成 22 年度 89.5% 医師 10 名
  - ・ 平成 23 年度 87.6% 医師 10 名
- 2 外来患者数
- 外来患者減少
- ・ 整形外科外来制限（週 1 回の診療の為、入院患者重視に変更）
  - ・ 内科再来患者は今後減少傾向と思われる
- 高齢化に伴い長期処方例の増加：2-3 ヶ月処方  
通院困難例を地元開業医に紹介（往診依頼）  
休日の増加に伴う長期処方例増加→以後長期処方となる例が多い

## V 問題点

- 1 医師の高齢化：数年以内に定年 2 名（小児科、内科）→後任は不明？
- 2 当直の負担：大学からの当直医派遣中止→外部医師、内部医師で対応  
内部医師の負担増：10 月以降 60 歳未満で平等に当直
- 3 医師確保の困難さ→外科 4 月より複数病院で派遣人員減、派遣中止
- 4 看護師確保：県立病院全体で看護師不足  
育児休暇の長期化 育短（16：00 まで勤務）人員の増加  
☆年々医師の高齢化が進む為、時間外患者数の減少を図る必要
  - 1 地域住民への啓蒙活動
  - 2 軽症例の受け皿：村上地区：夜間診療所開設：当院の負担減は限定的  
胎内市：新発田医師会で検討依頼  
新発田、中条の 2 箇所は人員的に困難？
- 5 医療提供体制の脆弱性
  - ・ 平成 19 年 消化器医師長期病欠→消化器専門医不在→20 年に異動
  - ・ 平成 20 年 泌尿器科パート医師長期病欠：外来週 4 回→週 2 回→復帰
  - ・ 平成 21 年 外科常勤医師病欠→1 ヶ月手術休止→復帰  
整形外科パート医師病欠→代理パート医師で対応
  - ・ 平成 22 年 整形外科パート医師診療中止→整形外科外来週 2 回から週 1 回へ  
泌尿器科医師長期病欠：外来週 4 回→週 2 回（代診）→復帰
  - ・ 平成 23 年 泌尿器科医師短期入院：大学医師で対応
  - ・ 平成 24 年 泌尿器科医師短期入院  
外科医師短期入院：手術延期

## VI 解決すべき重点課題

- 1 患者数増加→外来、入院患者減少傾向：荒川、関川の患者減が目立つ  
医師確保、医師減少を防ぐ最も有効な手段は患者数が多い事→27 年医師不足再燃？

- 2 当直業務の負担減  
時間外患者の減少
- 3 看護師不足への対応  
県立病院全体で不足→看護師不足により県立病院群の維持が困難になる危険

## VII 地域へお願いすべき事

- 1 患者増への対策  
坂町病院の情報発信方法について  
医療情報：村上市市報に掲載（不定期）、病院情報の発信方法はない  
夜間等に地域住民との交流会？
- 2 看護師確保について
  - (1) 地元で勤務していない看護師情報等→非常勤看護師の現地採用
  - (2) 看護師の保育について  
☆子供の面倒を見てもらえない看護師  
長期の育児休暇：16：00までの短時間勤務→看護師不足、組織のレベル低下  
☆院内保育所の開設を県に要望予定：発熱、感染症等の子供の一時的保育も予定  
看護師が安心して勤務可能：育児休暇の短縮 勤務時間の延長  
病気の子供を預かるサービス提供：新潟市等では小児科開業医等で提供  
地域の若い世代に必要性高い？

## 坂町病院の地区別患者数

## 1 地区別入院患者数

No.	区 分	H19	H20	H21	H22	H23	H23-H22
1	村上市南部	16,841 (37.9%)	14,611 (32.2%)	13,951 (29.7%)	13,767 (29.5%)	14,122 (30.9%)	355 (1.4%)
	荒川地区	11,833 (26.6%)	10,571 (23.3%)	9,995 (21.3%)	10,453 (22.4%)	10,727 (23.5%)	274 (1.1%)
	神林地区	5,008 (11.3%)	4,040 (8.9%)	3,956 (8.4%)	3,314 (7.1%)	3,395 (7.4%)	81 (0.3%)
2	胎内市	11,328 (25.5%)	12,560 (27.7%)	13,681 (29.1%)	13,649 (29.3%)	13,576 (29.7%)	-73 (0.4%)
3	関川村	8,040 (18.1%)	7,434 (16.4%)	8,777 (18.7%)	8,801 (18.9%)	6,959 (15.2%)	-1,842 (-3.7%)
4	村上市北部	4,001 (9.0%)	3,467 (7.6%)	3,575 (7.6%)	2,562 (5.5%)	3,175 (6.9%)	613 (1.4%)
	村上地区	2,672 (6.0%)	2,371 (5.2%)	2,681 (5.7%)	1,831 (3.9%)	2,093 (4.6%)	262 (0.7%)
	朝日、山北 地区	1,329 (3.0%)	1,096 (2.4%)	894 (1.9%)	731 (1.6%)	1,082 (2.4%)	351 (0.8%)
5	新発田市	2,703 (6.1%)	5,825 (12.8%)	5,218 (11.1%)	6,667 (14.3%)	6,572 (14.4%)	-95 (0.1%)
6	他地区	1,569 (3.5%)	1,527 (3.4%)	1,779 (3.8%)	1,164 (2.5%)	1,288 (2.8%)	124 (0.3%)
	総 計	44,482	45,424	46,981	46,610	45,692	-918

## 2 地区別外来患者数

No.	区 分	H19	H20	H21	H22	H23	H23-H22
1	村上市南部	53,107 (46.2%)	47,594 (45.1%)	46,088 (44.2%)	45,803 (44.0%)	44,825 (44.0%)	-978 (0.0%)
	荒川地区	40,544 (35.3%)	36,400 (34.5%)	34,739 (33.3%)	34,813 (33.5%)	33,960 (33.3%)	-853 -(0.2%)
	神林地区	12,563 (10.9%)	11,194 (10.6%)	11,349 (10.9%)	10,990 (10.6%)	10,865 (10.7%)	-125 (0.1%)
2	胎内市	28,051 (24.4%)	26,134 (24.8%)	25,989 (24.9%)	26,464 (25.4%)	26,124 (25.6%)	-340 (0.2%)
3	関川村	19,306 (16.8%)	17,960 (17.0%)	18,133 (17.4%)	17,294 (16.6%)	16,347 (16.0%)	-947 -(0.6%)
4	村上市北部	9,146 (8.0%)	8,782 (8.3%)	8,578 (8.2%)	8,928 (8.6%)	8,953 (8.8%)	25 (0.2%)
	村上地区	6,597 (5.7%)	6,437 (6.1%)	6,267 (6.0%)	6,424 (6.2%)	6,499 (6.4%)	75 (0.2%)
	朝日、山北 地区	2,549 (2.2%)	2,345 (2.2%)	2,311 (2.2%)	2,504 (2.4%)	2,454 (2.4%)	-50 (0.0%)
5	新発田市	1,026 (0.9%)	1,203 (1.1%)	1,841 (1.8%)	2,438 (2.3%)	2,655 (2.6%)	217 (0.3%)
6	他地区	4,318 (3.8%)	3,744 (3.6%)	3,577 (3.4%)	3,145 (3.0%)	3,008 (3.0%)	-137 (0.0%)
	総 計	114,954	105,417	104,206	104,072	101,912	-2,160

### 3 地区別時間外患者数

(単位：例)

No.	区 分	H19	H20	H21	H22	H23	H23-H22
1	村上市南部	1,859 (40.7%)	1,535 (40.3%)	1,734 (41.3%)	1,620 (43.1%)	1,569 (43.3%)	-51 (0.2%)
	荒川地区	1,296 (28.3%)	1,120 (29.4%)	1,246 (29.7%)	1,211 (32.2%)	1,123 (31.0%)	-88 -(1.2%)
	神林地区	563 (12.3%)	415 (10.9%)	488 (11.6%)	409 (10.9%)	446 (12.3%)	37 (1.4%)
2	胎内市	1,322 (28.9%)	1,167 (30.6%)	1,229 (30.9%)	1,139 (30.3%)	1,056 (29.1%)	-83 -(1.2%)
3	関川村	598 (13.1%)	505 (13.3%)	603 (14.4%)	526 (14.0%)	510 (14.1%)	-16 (0.1%)
4	村上市北部	488 (10.7%)	283 (7.4%)	363 (8.5%)	246 (6.5%)	285 (7.9%)	39 (1.4%)
	村上地区	362 (7.9%)	256 (6.7%)	358 (8.5%)	236 (6.3%)	279 (7.7%)	43 (1.4%)
	朝日、山北 地区	126 (2.8%)	27 (0.7%)	5 (0.0%)	10 (0.2%)	6 (0.2%)	-4 (0.0%)
5	新発田市	49 (1.1%)	46 (1.2%)	45 (1.0%)	57 (1.5%)	63 (1.7%)	6 (0.2%)
6	他地区	257 (5.6%)	273 (7.2%)	225 (5.3%)	174 (4.1%)	142 (3.9%)	-32 -(0.2%)
	総 計	4,573	3,809	4,199	3,762	3,625	-137

## 4 地区別救急車搬送患者数

(単位：例)

No.	区 分	H19	H20	H21	H22	H23	H23-H22
1	村上市南部	155 (33.9%)	137 (29.8%)	143 (29.3%)	179 (31.5%)	159 (26.4%)	-20 -(5.1%)
	荒川地区	86 (18.8%)	110 (23.9%)	101 (20.7%)	126 (22.2%)	121 (20.1%)	-5 -(2.1%)
	神林地区	69 (15.1%)	27 (5.9%)	42 (8.6%)	53 (9.3%)	38 (6.3%)	-15 -(3.0%)
2	胎内市	116 (25.3%)	143 (31.2%)	147 (30.2%)	169 (29.7%)	183 (30.3%)	14 (0.6%)
3	関川村	90 (19.7%)	85 (18.5%)	98 (14.0%)	115 (20.2%)	120 (19.9%)	5 -(0.3%)
4	村上市北部	61 (13.3%)	23 (6.3%)	50 (10.3%)	39 (6.8%)	58 (9.6%)	19 (2.8%)
	村上地区	43 (9.4%)	20 (4.4%)	50 (10.3%)	36 (6.3%)	57 (9.5%)	21 (3.2%)
	朝日、山北地区	18 (3.9%)	3 (1.9%)	0 (0.0%)	3 (0.5%)	1 (0.2%)	-2 -(0.3%)
5	新発田市	15 (3.3%)	39 (8.5%)	21 (4.3%)	47 (8.3%)	54 (9.0%)	7 (0.7%)
6	他地区	20 (4.4%)	28 (6.1%)	28 (5.7%)	20 (3.5%)	29 (4.8%)	9 (1.3%)
総	計	457	459	487	569	603	34